

「松ヶ岡」掛川の建築技術紹介

静岡文化芸術大
芸術大 オンライン講座 来月配信

静岡文化芸術大(浜松市中区)は3日、本年度の前期オンライン公開講座「匠(たくみ)とデザイン」を8月3



事前収録で、「松ヶ岡」に用いられた建築技術を紹介する
浜野さん＝浜松市中区の静岡文化芸術大

工事で設計監理を担当している京都伝統建築技術協会の浜野豪さん(熱海市出身)が、松ヶ岡の建築に残る伝統の技を紹介した。

松ヶ岡は江戸時代に掛川藩御用商人となった山崎家の旧宅。屋敷の中心にある主屋は安政の大地震直後の1856年に造られたとされる。

浜野さんは保存活用工事の過程で判明した建物内部の様子を紹介したほか、雨風や耐震性に優れた建築技術などを構造上の特徴として解説した。伝統建築の継承をテーマに、同大准教授らとのトークセッションも行った。

収録内容の視聴申し込みは同大ホームページで受け付ける。8月3日以降に期間限定で無料配信する。